

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意をいただくこととなっています。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いる研究等については、国が定めた指針に基づき対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得る必要はありませんが、研究の目的を含めて、研究の実施についての情報を公開し、さらに拒否の機会を保障することが必要です。このような手法を「オプトアウト」といいます。オプトアウトを用いた臨床研究は下記のとおりです。なお、研究への協力を希望されない場合は、下記文書内に記載されている担当者までお知らせください。

研 究 課 題 名	地域包括ケア病棟脊椎/下肢骨折患者における入棟時身体機能評価及び栄養状態の転帰先予測因子としての可能性
当院の研究責任者 (所 属)	渡邊和輝(リハビリテーション部 理学療法士)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	
本 研 究 の 目 的	身体機能評価や栄養状態が転帰先を予測する因子に影響するか
調査データ該当期間	2016年9月1日 から 2020年12月31日まで
研究の方法(使用する 資料等)	対象となる可能性の患者様 上記の期間中に地域包括ケア病棟へ入院した脊椎/下肢骨折の患者 利用する情報 カルテ情報から年齢、性別、BMIや基礎疾患、採血情報や測定項目は理学療法内容等を確認する。
試料/情報の他の機関 への提供	病院外への持ち出しはいたしません
個人情報 の 取 扱 い	得られた情報はすべて匿名として扱わせていただきます。年齢・性別の公開は可能性としてありますが、個人に不利益や危険性が及ぶことはございません。
本研究の資金源(利益 相反)	利益相反無し
お 問 い 合 わ せ 先	研究代表者 リハビリテーション部 理学療法士 渡邊和輝 (058-253-8001)
備 考	